

平戸台小学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間 平成18年12月1日～平成21年3月31日

学校教育目標 **《心豊かに自分らしく生きる子》**

自分のよさや可能性に気づき、自らを高めたり伸ばしたりする子を育てます。 (個性)
 めあてに向かって進んで取り組み、問題解決する子を育てます。 (解決)
 まちと豊かに関わり、共に生きていこうとする子を育てます。 (共生)
 自分や友達の心や体に関心を持ち、すべての命を大切に生きていこうとする子を育てます。 (心と体)

学校経営方針

教育目標の具現化を図るために、「子どもの学び」について実践的に追究します。
 教育目標の具現化をより効果的にするために、各職員の創意工夫を生かし、相互交流を深めていきます。
 教育目標の具現化をより効果的にするために、家庭・地域との連携を強めます。

指導の重点

学校生活集団や友人関係の中で、思いやりの心を養い、人権を尊重する人間性を育てます。
 日常活動の行動様式を実践する中で、柔軟な思考力や確かな判断力を育てます。
 児童の主体性を育成するために、創意工夫を尊重し、問題解決力を育てます。
 体験的活動やまちとのふれあいを進め、身の回りの環境づくりや環境問題に取り組むようにします。

改善の視点

(すこやかな心と体を育むこと)

人と向き合えるコミュニケーション能力と健康でたくましい体を育む必要があります

取組目標

異学年交流(たてわり活動)を通して、友達の輪を広げ、思いやりの気持ちを育てます。
 平成17年12月に児童が作成した人権スローガン「いやな言葉はズキッ!うれしい言葉はハッピー、相手の気持ちを考えて話そう」をもとにして、代表委員会を中心に「あたたかい言葉づかい運動」などを進めます。
 平成16年度からの全職員による登校時の校門におけるあいさつ活動を継続します。また、平成19年度からは家庭や地域と連携して「笑顔であいさつ運動」を進めます。
 児童の「代表ほたる委員会」を中心に保護者、地域ボランティア、地域と連携して自然観察園「ほたるの里」を育てます
 平成21年度4月より、児童会を中心に創立30周年の記念行事に向けて取り組みます。
 児童の体力向上を目指し、平成19年度は、3年生以上が、平成20年度からは全学年で、新体力テストを全種目実施します。

(確かな学力を育むこと)

子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実する必要があります。

平成18年度から実施の教科学習状況調査などをもとに、子ども一人ひとりの学習状況を的確にとらえ、チーム力を活かし、教科指導の改善及び算数の少人数指導・教科担任制などの指導の工夫を進めていきます。
 軽度発達障害など特別な支援を必要とする児童に適切な支援を行うために、毎月、情報交換や理解のための研修を実施します。
 指導力向上のために全教員が「研究授業」を行い、研鑽を積みみます。
 平成19年度より毎週1回、読書力をつけるために、朝の読書タイムを実施します。また、教師による読み聞かせを行い、学校図書館や学級文庫を充実させます。

<p>多様な外部人材の参加を得て、教育の質を向上させる必要があります。</p>	<p>現在、総合・生活科・クラブ・読書・自然観察園「ほたるの里」で学校支援ボランティアの協力をいただいています。平成19年度からは、英語・情報（パソコン）・社会などについても学校支援ボランティアを募り、連携による授業の準備を進めていきます。</p>
<p>(安心・安全な学校づくり)</p> <p>安心・安全な学校づくりをする必要があります。</p>	<p>平成16年度から実施している全職員による朝の門当番を継続するとともに、19年度からは学年下校を徹底し、安全な登下校ができる体制を続けていきます。</p> <p>「自分の身は自分で守る」を合言葉に、毎年、交通安全教室 防災訓練・防犯教室を実施し、緊急事態への対応に備えます。また、児童が作成した安全マップを保護者・地域に提示し、作成後は随時更新するようにします。</p> <p>登下校の見守りや行事の安全な実施に向けて地域・保護者の協力を得ています。今後も協力者を募っていきます。</p> <p>平成19年1月から、災害時及び不審者対応、緊急行事変更などの情報を、緊急連絡用メール配信を利用して保護者に発信します</p>
<p>人材育成の考え方</p>	<p>今後増える新任教諭、若手教諭の育成を図るために、教育委員会主催の研修を活用するとともに、校内研修を充実していきます。</p> <p>平戸中ブロックの教職員研修を充実し、小・中学校連携を強めていきます。</p> <p>特別支援教育及び児童指導に対応するために、平成20年度までに特別支援教育及び児童指導担当コーディネーター的役割を主幹教諭の職務として位置づけていきます。</p>
<p>平成20年度の 重点取組項目</p>	<p>本の世界を広げるために、本に親しむ読書タイムや読み聞かせの時間を設けるとともに学級文庫や図書館の整備に努めます。</p> <p>「笑顔であいさつ運動」を推進します。あいさつやあたたかい言葉づかいについて、子どもたちとともに取り組みます。</p> <p>好ましい人間関係を育てるためにたてわり活動（異学年齢集団）の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会・集会活動・たてわり給食・地域清掃等 <p>自然観察園「ほたるの里」の環境を活かして自然とふれあい、生命の尊さを学ぶ学習を展開します。</p>
<p>これまでの 取組結果</p>	<p>自然観察園「ほたるの里」を核として学習計画が練られ、実践に向けて取り組み始めました。子どもたちは、自然観察園を利用し、鳥や樹木・草花に興味をもち、楽しく学習を進めています。今後も、自然観察園に愛着をもち、学校の財産としてさらに有効に活用しようとする意欲を大切にしていきます。</p> <p>子どもたちは、読書タイムや読み聞かせの時間を心待ちにするようになり、読書の楽しさに気づきはじめています。読書の幅を広げ、深まりを求めていくことがこれからの課題です。</p> <p>子どもの安全を見守る地域協力者の方々よりあいさつをする子が多くなったとお褒めの言葉をいただきました。あいさつを投げかけると応える子どもが増えてきています。進んであいさつする声が広がるように今後も取り組んでいきます。</p>
<p>まちとともに歩む 学校づくり懇話会 の意見等</p>	<p>挨拶する子どもたちが増えてしていると実感している。とても喜ばしいことである。</p> <p>読み聞かせでじっと聞いている子どもたちの顔がよい。シャッフル読み聞かせで全教職員が関わっていることもとてもよい。読書タイムも2年目となり子どもたちに定着浸透していくことを願っている。</p> <p>外国語活動の様子を参観したい。今後、オープンスクール等で予定されているとのこと期待している。</p> <p>先生方が外国語活動や特別支援教育の研修を定期的に行っていると聞いて心強く感じている。</p>